

## 2011年度「事業活動計画」

### I. はじめに

- ◇ リーマンショックによる世界同時不況から徐々に回復の兆しがみられてきたものの、依然として厳しい経済状況、雇用状況を踏まえ、新政権には成長戦略による新たな雇用創出やデフレ脱却などの経済対策が期待されるさなかに、東北地方太平洋沖地震が発生しました。この大震災は、わが国のみならず世界経済にも大きな影響を及ぼしています。政府には、被災者や避難者、被災地の救援・復旧・復興にむけた迅速な対応と、そして日本経済の復興と発展に向けた確かな政策と実行が求められています。
- ◇ わたくしたちがめざすべき社会は、お金やGDPでは測れない価値を大切にする社会、人と人のつながりや絆が重んじられる、ぬくもりのある社会、貧困や社会的排除を許さない社会、環境にやさしい持続可能な社会です。
- ◇ 「ネットワークSAITAMA21運動」(ネット21運動)は、2004年のキックオフから8年目をむかえます。その原点は、個別企業の労使では解決できない、社会や地域での生活・暮らしに関わる様々な問題解決をはかるために、地域のNPOや市民団体と連携し、労働組合がもつスケールメリットと労働金庫や全労済、生協などの共同事業団体の機能を最大限に活かして、支えあい・助け合いの地域ネットワークを結び広め、「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。
  - ①勤労者の生涯にわたる暮らしのサポート活動、②「共生」の地域社会づくりへの積極的な参画、③市民社会との連帯と協働、を柱とする「ネット21運動」に、あらためて確信を持って取り組んでいくこととします。
- ◇ しかしながら、「ネット21運動」をさらに普及・定着させていくためには、まだ多くの課題があることも事実です。
  - ワンコイン運動、ボランティア・カードのあり方やカード以外も含めた「コミュニティ・ファンド」のあり方、ファンドへの協力者から共感の得られる事業の企画や積極的な広報宣伝活動など、その検討と実践が求められています。
  - 本年度も、連合埼玉の各構成組合・福祉事業団体はもとより、地域協議会や地域労福協をはじめ、これまでの運動のなかで連携・協力関係が広がってきた多くのNPOとも協働して、以下のような事業活動を進めていきます。

尚、従来の5つのプログラム【①ライフ・サポート、②ボランティア・サポート、③自己実現生きがいづくりサポート、④人材育成、⑤NPOサポート】の各プログラムを下記3つのプログラムに整理・再編して実施します。

＜\*③と⑤を統合、④は連合埼玉の教育プログラムに移行する＞

#### 1. ライフサポート・プログラム

◇暮らし応援セミナー(出前講座)、◇未組織・生活困窮者等支援

#### 2. ボランティアサポート・プログラム

◇シニア人財バンク制度、◇自然環境ボランティア促進・自然環境体験事業

#### 3. NPOサポート・プログラム

◇NPO支援事業(物品寄贈等)、NPO体験ツアー・NPOインターンシップ

## Ⅱ. 基本事業活動計画

### 1. ライフサポート・プログラム

働くものと市民・生活者の“生活と暮らしに関わる研修プログラム”を整備し、福祉事業団体やNPOなど連携・協力関係にある団体から専門講師を派遣して開催する「出前講座・暮らし応援セミナー」は、連合埼玉や地域協議会・地域労福協等での開催が増えています。(2010年度：24講座、2009年度：12講座)

ボランティア・カードなどファンドへの協力に対する還元や更なる運動普及の観点から、連合埼玉構成組織をはじめ福祉事業団体やOB組織、NPOなどにも広く広報・宣伝し、積極的な利用促進に努めていきます。また、最近、新たなテーマでの講座要望もあることから(育メン、防災対応など)、ニーズに対応できるようプログラムの整備・拡充をはかっていきます。

また、本年度は、広い意味での勤労者ライフサポートの観点から、未組織の労働者や生活困窮者などを対象にした支援についても運営委員会で検討し、実施していきます。

#### (1) 出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催

- ①連合埼玉構成組織・地域協議会、地域労福協、福祉事業団体、各OB組織、埼玉シニア連合、等での積極的な利用促進
- ②「ライフサポートステーション・ネット21事務所」(久喜・川越)と連携した「出前セミナー」の開催
- ③「暮らし応援・出前セミナー」のプログラムの整備・拡充と、見直し版リーフレットの作成

#### (2) 未組織、生活困窮者等への支援

未組織の労働者、勤労者のライフサポートの観点から、反貧困運動や多重債務対策、自殺防止対策等の取り組みに対する支援を行うこととし、具体的な支援方法は運営委員会で確認して実施していきます。

### 2. ボランティアサポート・プログラム

#### (1) 「シニア人財バンク」の活動

「シニア人財バンク」は、自分の特技や趣味を活かし、ボランティア活動などを通じて地域社会に「貢献したい、参加したい」と思っている50才以上の人に登録してもらい、登録者にボランティア活動、NPO活動などを紹介・案内する制度です。

昨年、登録者(名簿上登録者151名)の現況調査と継続登録の確認を実施した結果、継続を希望する登録者は51名となりました。また、登録者交流会を計画し案内しましたが参加者少数のため、2010年度の登録者交流会は中止といたしました。このような状況を踏まえ、以下のような取り組みを中心に行っていきます。

- ◇ 当面は、継続登録者との連携(情報提供)を中心に、新たな登録促進活動や登録者交流会などについては、具体的なボランティア活動への参加の場やニーズなど、その環境を整備しつつ、取り組むこととします。(フードバンク活動など)。

(2) 「シニア・ボランティアネット21」について

「シニア・ボランティアネット21」は、シニア人財バンク登録者に、県・市町村の各社会福祉協議会やNPO等からのボランティア募集を紹介・斡旋する“地域社会と元気シニアを結ぶプラットフォーム”との構想で設置した制度です。

しかし、インターネットを通じて双方のマッチングをはかるシステムを構築することは困難であり、これまで機能していない状況であったために、2010年度において、インターネット上の「募集・斡旋」のサイトを削除しました。

◇当面は、シニア人財バンク登録者へ「ネット21運動」事務局から「NPOやボランティア活動」に関する情報提供を行っていくこととし、インターネットを通じてのマッチングシステム（募集・斡旋サイト）は廃止することとしました。

(3) 自然環境ボランティア促進、自然環境体験事業

自然環境の保護・保全の大切さを学び、その活動の促進・継承を狙いに、親子での参加を基本にした夏休み親子体験事業、また、勤労者の定年退職後のライフワークなども意識した田舎暮らし体験などの事業をこれまで行ってきました。

また、2010年度は、新たな連携事業などを検討するために、ときがわ山里文化研究所と大東文化大が協働で進めている「源流の森づくりプロジェクト」の視察を行いました。

このような実績を踏まえ、2011年度は以下の事業を行います。

① 「尾瀬」での、親子自然環境体験・ボランティア体験の実施

2011年度は、①小学生以下の子供と親を対象とする「親子自然体験」コースと②小学生以上や大人（夫婦・友達）も参加可能とする「清掃ボランティア」コースの2つのコースによる自然環境体験、ボランティア体験を企画します。  
（計40名規模）

② NPO法人ときがわ山里文化研究所と連携した自然体験の実施

- ◇ 山の学校：夏休み親子自然体験教室
- ◇ 「ときがわ山里文化研究所」主催の田舎体験教室等への参加（参加案内）
- ◇ 「源流の森づくり」との連携の検討

### 3. NPOサポート・プログラム

従来の「NPOサポート・プログラム」と「自己実現生きがいづくりサポート・プログラム」を統合して、以下の事業を行うプログラムとしました。

(1) 地域で活動・活躍するNPO等の支援と連携を目的とする物品助成事業

- ① NPO応援・物品助成プログラム（パソコン寄贈：推薦・応募方式）
- ② NPO応援・少額助成プログラム（NPO、施設などへの少額物品等の寄贈：推薦方式）  
（※構成組織・団体、地協・地域労福協などの推薦に基づく少額物品等の寄贈）
- ③ NPO応援・物品寄付プログラム（事務用機器等リサイクル品）

(2) NPO活動への理解と具体的な参加（社会参加）をサポートする事業

①「NPO訪問ツアー」

まずは役員自らが地域で活動するNPOを“知ろう・見よう・学ぼう”との考え方で、連合埼玉や福祉事業団体の役員・職員を対象に実施します。

②「勤労者のための、NPOインターンシップ体験事業」

県内各地において、子育て・介護・障がい者支援や自然環境を守る活動など、様々なNPO活動が行われており、新しい公共を担う存在ともいわれています。

ボランティアやNPO活動などやってみたいと思っている人、そろそろ何かやらなくては、と考えている人などに、3日間のNPO体験をしてもらう事業です。

\*シニア人財バンク登録者や、連合埼玉構成組織・単組や福祉事業団体からの推薦者（ボランティア活動やNPOに興味がありそうな人、今後の仕事や退職後のために体験させておきたい人 etc）など、体験者を募り実施します。

#### 4. 「ネット21運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

(1) 「ワンコイン（500円）運動」展開による、ボランティア・カードの普及拡大

<\*2011年度版ボランティア・カードはA・B2種類のカードを展開しました>

- ①各組織・団体での積極的な勉強会・説明会の開催
- ②NPOや外部団体・一般市民への「ボランティア・カード」の積極的な展開
- ③久喜・川越事務所での相談者・訪問者への「ボランティア・カード」のPR

(2) 「協賛企業」、ボランティア・カード契約店の拡充。

(3) 「ネット21運動」の広報・宣伝活動の強化

- ・HPの見直し・改善（見やすい、わかりやすいHP）
- ・HPへのタイムリーな情報アップ（活動紹介、募集、活動報告 etc）
- ・「埼玉労福協だより」「マンスリー」等による活動紹介

以 上